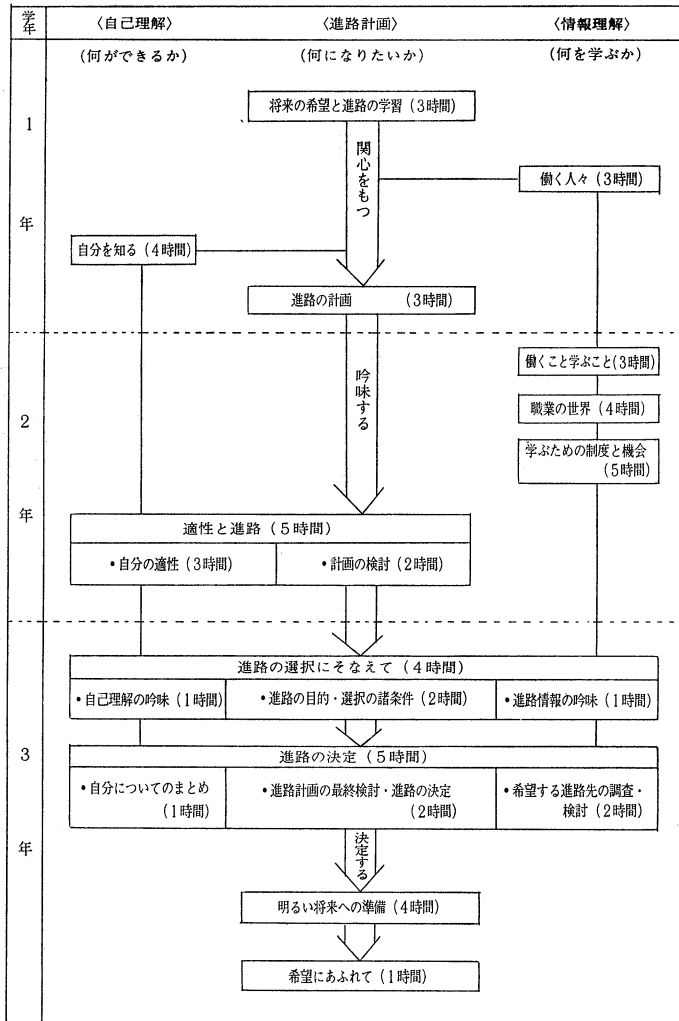


学級指導における進路指導の題材関連



② 進路相談資料の収集と整備
・「進路個人カード」(教師用)
進路相談を行うための個々の生徒の資料として「進

③ 相談技術の向上
進路相談に当たったっての成功・不成功は相談技術に左右されることがある。場面構成、リレーションづくりなど、相談の技法をよく理解し、効果的に進路相談を進めるため、事例研究を、学年単位で実施し、相談技術の向上につとめている。

④ 進路相談後のたしかめ
進路相談を実施することにより、生徒に何らかの変容が生ずるはずである。相談即変容ではないにしても、生徒の進路に対する考え方、生活態度等

現を図れるよう指導している。
② 小集団学習の推進
本校の生徒は比較的小おとなしく、自分の考えをはっきり述べる事ができない面が見られるので、互いに援助したり考えを深めたりするねらいで、小集団学習を推進している。
③ 資料の活用と提示・保管
授業のねらいが達成できるかどうかの要因の一つに、資料の適否が考えられる。本校では、身近で具体的な資料を正確で新しい資料の収集を図り、授業

のねらいが達成できるように考慮している。また使用した資料は、進路情報室に保管して、すぐ活用できるように工夫している。
③ 進路相談部会
進路相談は、教育相談の一部をなすものであるが、生徒の情緒的、人格的問題を扱う相談と比べると、進路相談は、認知的、情報中心的な側面が強い。そして教育相談が、いろいろな問題に直面して生徒が自発的

又は教師の呼び出しによって行われるのに対して、進路相談は、定期的・発達の行われるものである。
したがって、進路相談を通じて、生徒の自己理解を深め、進路の世界の理解を深めさせ、進路の選択や計画、更に将来の生活における自己実現がより確実に達成できるように、計画し実践している。
① 定期進路相談の実施
進路相談を定期的の実施するために相談計画を作成し、その相談内容をも

とにして各学期一回、全生徒にゆきわたるようになり、実際に実施している。
② 進路相談資料の収集と整備
・「進路個人カード」(教師用)
進路相談を行うための個々の生徒の資料として「進路個人カード」を作成し、生徒の進路希望、学習成績、身体的特徴、学級会・生徒会・部活動等の活動状況、本人の能力・適性等を総合的に把握できるようにしている。このカードと各種検査・調査の結果・観察結果をファイルの中に保管し、個人資料として活用している。
・「自己分析ノート」(生徒用)
生徒の自己理解資料として、「自己分析ノート」を作成した。このノートの内容は⑦自分の人から④自分の将来からなっており、進路学習の内容に従って計画的に記入し、将来の希望や自分の特色の理解を深め、進路意識を高めるのに役立っている。
その他の個人資料として、調査・検査の結果のうち自己理解に役立つものを、このノートに貼布させて活用している。